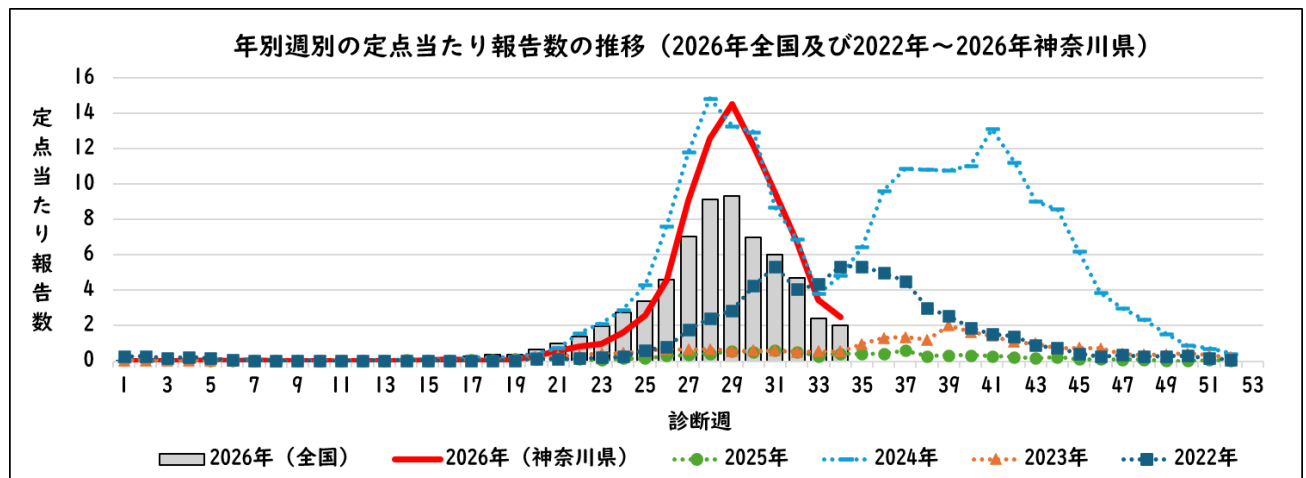


神奈川県 手足口病情報（9）34 週

警報を発令中です！

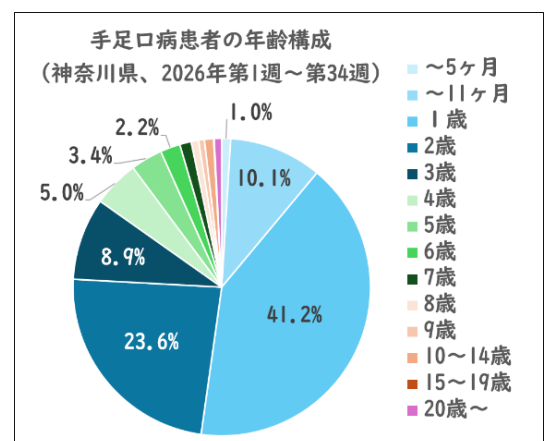
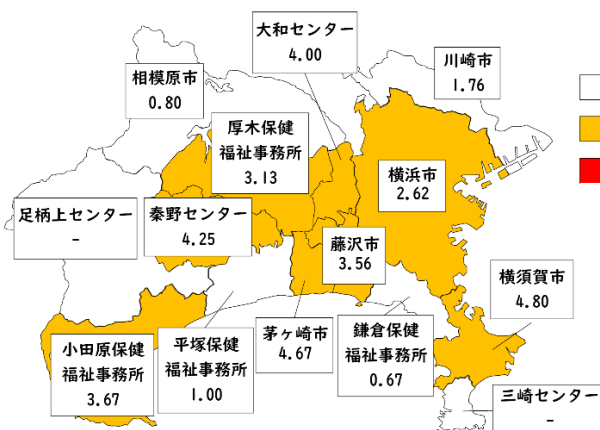
神奈川県では、第 27 週（2026 年 6 月 29 日～7 月 5 日）の手足口病の定点当たり報告数が 9.09 となり、警報レベル（定点当たり報告数 5.00）を超えました。第 34 週（2026 年 8 月 17 日～8 月 23 日）の定点当たり報告数は 2.47 で、第 29 週以降、減少傾向が続いています。ここでは、県内の流行状況などについてご紹介します。



（Ⅰ）県内の流行状況について（第 34 週（2026 年 8 月 17 日～8 月 23 日）時点）

地域別に見ると、神奈川県では、全ての保健所管轄地域で定点当たり報告数 5.00 を下回りました。しかし、依然として 8 か所の保健所管轄地域で定点当たり報告数 2.00 を超えています。

年齢別に見ると、神奈川県では、1 歳が 41.2% と最も多く、特に 0 歳～1 歳までで全体の約半数を占めています。大人でも感染することがあるため、注意が必要です。



(2) 病原体サーベイランスについて

神奈川県衛生研究所では、医療機関の皆様に取り
していただいた検体について病原体検査を実施し、
現在流行している病原体の検出状況や特徴を監視
(サーベイランス) しています。

	検体採取月		総数
	6月	7月	
検体数	7	16	23
コクサッキーウイルスA6型	7	12	19
陰性	0	0	0
検査中	0	4	4

2026 年 8 月 6 日現在までに、当所に搬入された手
足口病患者の検体は 23 検体で、その検査結果は表のとおりです。

コクサッキーウイルス A6 型による手足口病の場合、水疱が大きくて出現範囲も広く、水痘（みずぼ
うそう）と見間違えられることがあります。また、治った後に爪がはがれることがあります（爪甲脱落
症）。

＊数値は速報値のため、今後変更する可能性があります。

手足口病について

手足口病とは、コクサッキーウイルス A 群やエンテロウイルス 71 型と呼ばれるウイルスが主な
原因となる感染症のことです。手、足、口の中にできる水疱性の発疹が主な症状となります。

主な感染経路は、水疱の内容物や唾液、よだれに含まれるウイルスが手やおもちゃなどを介し
て口や目などの粘膜から入って感染します（接触感染）。また、便と一緒に排出されたウイルスが
口に入ることで感染します（糞口感染）。口腔内のウイルスが飛沫感染することもあります。

この感染症には予防接種や有効な治療法が無く、症状を和らげる対症療法のみとなります。消
毒用アルコールは効きにくいので、予防には石鹼による手洗いが有効です。また、治った後もし
ばらく便中にウイルスが排出されるため、排便後やおむつ交換後は手洗いをしっかりと行いまし
ょう。タオルの共用を避けることも大切です。以下に参考リンクをご紹介します（2026 年 8 月 28
日アクセス）。

- ・ [国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト「手足口病」](#)
- ・ [厚生労働省「手足口病」](#)
- ・ [厚生労働省リーフレット「手足口病」](#)